

ベルグ福島株式会社

農作物病害防除用の植物ワクチン開発及び ワクチン接種苗の実用化に挑む

国内野菜産地において防除が困難とされる病原菌、キュウリとカボチャでは3種または2種の全ウイルス、メロンでは土壤伝染性のカビを防除する植物ワクチンの開発及びその接種苗の実用化、並びに大量生産システムの開発導入を目指します。



代表取締役
中越 孝憲

開発背景

農業界では、ウイルスやカビが原因となる病害による被害が深刻化しており、特に福島県における露地キュウリ産地では大きな被害が発生しています。本事業では、植物ワクチン接種苗の実用化により、これらの課題の解決を図ります。

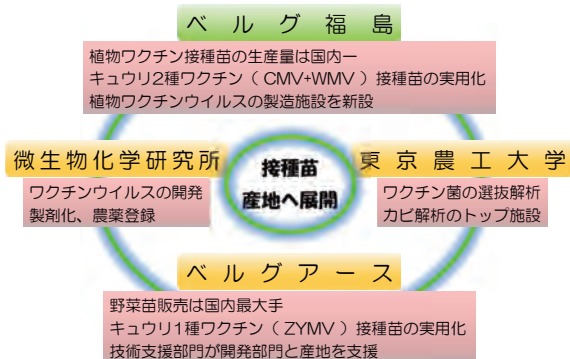
実用化開発の目標

実用化時期	令和5年度（2023年度）
販売製品・サービス名	キュウリ3種混合・カボチャ2種混合ワクチン・メロンワクチンの接種苗
成果物（最終年度）	・植物ワクチン接種苗大量生産システムの確立 ・植物ワクチン接種機の高効率化開発 ・キュウリ3種・カボチャ2種混合ワクチン接種苗 ・メロンワクチン接種苗
創出される経済効果	研究施設整備による地域雇用者の増大及び交流人口の増加。また、ワクチン接種苗の実用化による農業収入の高位安定化

開発のポイント

要素技術	・ウイルス病発生状況調査ノウハウ ・植物ワクチンの選抜技術 ・植物ワクチンの製造技術 ・植物ワクチン接種苗の大量生産技術
開発のポイント	ウイルス病に関しては2種又は3種のワクチンを同時接種し、複数のウイルス病を防除。菌類病へは、ワクチン接種方法の確立を行い、実用化を実現します。

目標を達成できる研究支援体制とその実績



浜通り復興に向けたメッセージ

本事業を発展させ、川俣町から日本農業ひいては世界農業に革命を興す植物ワクチン及びワクチン接種苗の実用化を実現致します。

浜通り地域への経済波及効果

雇用数	実績	1名（うち、地元雇用者1名）
	今後の予定	30名（うち、地元雇用者25名）
地元企業との連携	拠点立地件数(立地場所)	1件（川俣町）
	R&D・開発	研究施設建設工事を地元企業（川俣町）へ発注
	資材調達	農業用機器を地元企業（川俣町）より調達
	製造	製造に係わる燃料、消耗品等を地元企業より調達
販路開拓	福島県下全JAや種苗店を通し多くの産地へワクチン接種苗を導入	

これまでに得られた成果

成果品・試作品	・ワクチン接種装置試作機 ・生産者圃場での接種苗の実用性評価実施 ・植物ワクチン製造の効率化に関する研究データ
知的財産権	現状予定無
開発技術	・植物ワクチン接種機試作機の作製 ・キュウリ3種ワクチン・カボチャ2種ワクチン接種苗の開発
自治体との連携実績	川俣町（事業連携協定、企業立地協定）
代表的な企業との連携実績	株式会社微生物化学研究所と業務提携
メディア露出や受賞歴	川俣町との企業立地協定式が福島民友新聞および福島民報新聞に掲載

連絡先

ベルグ福島株式会社 |
福島県伊達郡川俣町大字羽田字曾利田10番地の1
☎ 024-572-6393 (担当：豆塚輝行)
✉ teruyuki.mametsuka@bergfukushima.co.jp



投資規模 1~5億円
開発人数 10~29名
販売時期 令和4年度（2022年度）
販売形態 3種混合ワクチン接種苗（試験販売）
販売見込先 福島県下を中心として全国のJA・種苗店
協業希望先 育苗業者